

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成29年						平成30年															
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月 ~7日	10月 ~14日	10月 ~21日	10月 ~28日	11月 ~4日	11月 ~11日	11月 ~18日
カンピロバクター	142	87	98	161	109	84	37	39	48	105	75	71	122	98	160	22	34	32	25	28	33 (34)	23
病原性大腸菌	206	161	102	112	73	110	66	51	44	98	78	83	111	80	73	19	20	15	15	22	40 (42)	26
腸管出血性大腸菌	1	1	0	2	1	0	0	1	1	0	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1
サルモネラ	18	29	9	12	16	3	3	1	1	5	3	20	12	22	13	5	3	0	1	0	0 (1)	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	32	17	24	24	9	12	14	11	7	24	10	10	16	26	20	5	1	7	4	6	8	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	27	16	22	19	15	16	12	11	13	12	12	17	14	11	18	2	0	3	2	5	5 (6)	1
腸炎ビブリオ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
その他	9	11	5	14	3	1	0	7	5	3	1	2	4	2	2	0	1	0	0	0	1 (2)	0
ロタウイルス	1	1	0	0	0	0	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	2	0	1	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	8	2	1	3	7	21	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	0	0	0	0	2	3

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

*先週の、その他の1件増は、アエロモナスでした。

広島県感染症発生動向週報

平成30年第46週(11月12日~11月18日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	10	結核	10					5	2	3
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1							1
四類	4	つつが虫病	3	2				1		
		レジオネラ症	1							1
五類全数	18	アメーバ赤痢	2					2		
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	5	1				3		1
		クロイツフェルト・ヤコブ病	2							2
		梅毒	5					3		2
		百日咳	4						2	2

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第46週 11/12~11/18)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. 感染性胃腸炎

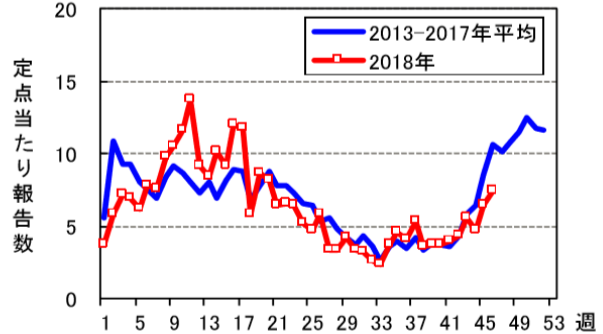
定点当たり7.42人の報告があり、前週と比べてやや増加しました。

例年この時期からノロウイルスによる感染性胃腸炎が急増するため、保育園や福祉施設などの集団生活の場では、特に注意が必要です。手洗いの励行、便・吐物の適切な処理など感染予防対策を徹底しましょう。

2. インフルエンザ

定点医療機関から25人(定点当たり0.68人、迅速診断キット:A型陽性24人、B型陽性1人)の報告がありました。インフルエンザの流行時期が近づいています。流行前の予防接種、流水・石けんによる手洗いの励行、咳エチケットなど、インフルエンザ対策を徹底しましょう。

感染性胃腸炎の流行状況



【参考】感染性胃腸炎(特にノロウイルス)について(厚生労働省)
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/norovirus/>

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	増減状況										
												急増減	増減	微増減								
インフル	インフルエンザ	25	0.68	0.56	◇	小児科	流行性耳下腺炎	3	0.13	0.76	◇	急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減								
小児科	咽頭結膜熱	8	0.33	0.58	◇	眼科	RSウイルス感染症	6	0.25	0.70	◇	増減	↔	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減								
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	84	3.50	2.47	◇		急性出血性結膜炎	-	-	0.03	◇	微増減	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減								
	感染性胃腸炎	178	7.42	10.71	◇	基幹	流行性角結膜炎	4	0.50	0.83	◇	横ばい	→	ほとんど増減なし								
	水痘	10	0.42	0.72	◇		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	◇	報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。										
	手足口病	24	1.00	0.79	◇		無菌性髄膜炎	-	-	0.14	◇	<table border="1"> <tr> <td>インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>小児科定点数</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>眼科定点数</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>基幹定点数</td> <td>7</td> </tr> </table>			インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37	小児科定点数	24	眼科定点数	8	基幹定点数	7
	インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37																				
	小児科定点数	24																				
	眼科定点数	8																				
基幹定点数	7																					
伝染性紅斑	2	0.08	0.24	◇	マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.23	◇	(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)												
突発性発しん	8	0.33	0.39	◇	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	◇													
ヘルパンギーナ	6	0.25	0.08	◇	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	◇													

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	122	男性(20歳代)、男性(40歳代)、女性(60歳代)、女性(70歳代)、女性(90歳代)
4	つつが虫病	1	3	女性(70歳代)
5	アメーバ赤痢	2	11	男性(40歳代)、男性(50歳代)
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3	14	男性(60歳代)、女性(70歳代)、男性(80歳代)
5	梅毒	3	100	男性(20歳代)、男性(30歳代)、男性(50歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
流行性角結膜炎	結膜炎 瞼結膜の濾胞 球結膜充血	28	女	2018/09/17	結膜擦過物	アデノウイルス54型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.0) 気管支炎	9	女	2018/10/01	鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	気管支炎	4	男	2018/10/06	鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	気管支炎	5	女	2018/10/07	鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(38.3) 気管支炎	5	女	2018/10/07	鼻汁	エンテロウイルス68型
その他の呼吸器疾患	発熱(37.4) 気管支炎	4	男	2018/10/07	鼻汁	エンテロウイルス68型
その他の消化器疾患	嘔吐 腹痛 腸重積	2	男	2018/08/13	糞便	アデノウイルス4型
その他の消化器疾患	腹痛	3	男	2018/09/18	糞便	アデノウイルス31型
その他の疾患	腹痛	2	男	2018/07/21	糞便	エコーウイルス11型 アデノウイルス2型
その他の疾患	発熱(38.4)	0	男	2018/10/05	咽頭拭い液 糞便	エコーウイルス11型 ライノウイルス エコーウイルス11型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入のみ掲載